

## 鹿野の秋の夜、再び輝く。 鎮守の杜を照らす、かの' nこと清流Fes.

朝晩の冷え込みも厳しく、いつ雪が降っても不思議ではない季節になってきましたね。今月号の「えーる!」では、11月14日から30日までの週末に開催された「かの' nこと清流Fes.」の様子をご紹介します。

プロジェクションマッピングとライトアップで鹿野の夜を彩るこのイベントは、昨年に続き2回目の開催。今回は、二所山田神社をメイン会場として実施されました。

駐車場と、キッチンカー、会場への入口を兼ねる漢陽寺に到着し、入場料を支払って清流通りへ足を踏み入れると、漢陽寺横の白壁に映し出された映像や、ライトアップされたモミジが迎えてくれます。メイン会場に着いていないのに、ワクワクしてくる光景でした。

清流通りは約600メートルの遊歩道ですが、入口からしばらくは写真撮影や移り変わる映像に見入って、気づけば10分近く、足を止めていました。

鹿野の夜はしんと冷え込み、すっかり防寒をしておきたい気候でしたが通りの始まりから心が高鳴る体験が続きます。

10月に灯ろう流しが行われた池では、噴水が上がり水をイメージした映像が地面に投影されていました。

並木には色とりどりのライトが当てられ、昼とはまったく違う幻想的な雰囲気広がります。

そして到着した、本イベントのメイン会場である二所山田神社。

参道を囲む鎮守の杜は

ライトに包まれ、石柱や石段には映像が映し出されます。

境内では、神社をスクリーンに見立てたプロジェクションマッピングが行われ、暗闇の中に浮かび上がる光の映像は、昨年、漢陽寺を会場にした第1回とはまた違った印象を与えてくれました。多くのスタッフの支えにより、寒さにもかかわらず、多くの人でにぎわったこのイベントは、2回目となる今年も、大盛況のうちに幕を閉じました。







## ライトアップと 漢陽寺夜間拝観

清流通りから二所山田神社までの数百メートルは、まるで別世界のようにライトアップされていました。紅葉を思わせる赤や、日中よりも深みを増した緑。二所山田神社では、時間によりライトが明滅し、木々を照らす色が次々と変わる演出も楽しめました。普段から見慣れた参道も、足を止めて撮影したくなるほど美しく、肉眼でも移ろいゆく色彩をじっくり味わうことができました。

また、同時開催イベントとして漢陽寺では夜間拝観が行われ、国の登録記念物である六庭園もライトアップされていました。光によって砂紋に影が生まれ、昼間とは異なる静けさの中で感じる特別な雰囲気。プロジェクションマッピングが光輝くはなやかなイベントであるのに対し、漢陽寺夜間拝観は、しんとした庭を静かに影が彩るイベントであったと感じます。

鹿野の夜を楽しむこのイベントは、いつもの風景に新しい魅力を見せてくれます。昼間はもちろん、夜だからこそ味わえる楽しみがあるのだと改めて感じられる時間でした。

多くのスタッフの支えにより、寒さにもかかわらず多くの人でにぎわったこのイベント。2回目となる今年も、大盛況のうちに幕を閉じました。鹿野の夜に光を添えてくれるこのイベントを支えてくださった皆さんに心からエールを送ります！